

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する



京都市立西ノ京中学校
学校だより ⑨
平成31(2019)年1月31日
校長 内田 隆寿

学校改善に向けた後期保護者アンケート ～ご協力ありがとうございました～

30年度後期 保護者アンケート 前期比較

2018(平成30)年12月実施 回収数 155枚
2018(平成30)年06月実施 回収数 135枚

	質問項目 【右A+B欄の矢印は前年同期と比較して5%以上変動のあるもの】	A+B		A そう思う		B 大体そう思う		C あまりそう思わない		D そう思わない	
		30後期	30前期	30後期	30前期	30後期	30前期	30後期	30前期	30後期	30前期
学校生活・学習面	子どもは安心して楽しく学校に通っている。	98.1%	99.3%	54.8%	57.0%	43.2%	42.2%	1.9%	0.7%	0.0%	0.0%
	子どもは学校の授業を「わかる」と言っている。	79.9%	81.5%	22.1%	23.7%	57.8%	57.8%	18.2%	17.8%	1.9%	0.7%
	子どもには基礎的な知識や技能、学力がついてきていると思う。	78.7%	81.5%	27.1%	21.5%	51.6%	60.0%	19.4%	18.5%	1.9%	0.0%
	子どもは部活動に楽しく熱心に参加している。	↑ 90.6%	92.5%	48.3%	59.7%	42.3%	32.8%	6.0%	5.2%	3.4%	2.0%
	子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる。	87.1%	92.6%	34.8%	31.1%	52.3%	61.5%	11.6%	5.9%	1.3%	1.3%
	家で予習や復習、宿題等の勉強はできている。	↓ 61.9%	65.2%	19.4%	20.0%	42.6%	45.2%	28.4%	29.6%	9.7%	4.7%
	子どものことについて、先生と気軽に相談できる。	77.4%	76.9%	23.2%	19.4%	54.2%	57.5%	18.7%	18.7%	3.9%	4.0%
	学校の様子や、学級・学年・学校だよりやホームページなどでよく分かる。	91.0%	91.7%	33.5%	33.8%	57.4%	57.9%	7.1%	7.5%	1.9%	0.7%
	校舎・教室は整理整頓され、掲示物等は分かりやすく配置されている。	95.5%	96.3%	36.8%	22.2%	58.7%	74.1%	4.5%	3.7%	0.0%	0.0%
	学校は一人ひとりを大切にしたい教育活動をすすめている。	81.9%	86.7%	25.8%	17.8%	56.1%	68.9%	16.8%	13.3%	1.3%	0.0%
	教職員は生徒のために熱心に取り組んでいる。	91.0%	94.1%	33.5%	28.1%	57.4%	65.9%	7.1%	5.9%	1.9%	0.0%
	西ノ京中学校の教育活動に満足している。	90.9%	94.0%	30.5%	20.9%	60.4%	73.1%	7.1%	5.2%	1.9%	0.7%
家庭生活・家庭の役割	子どもは校則やきまりを守っている。	97.4%	99.3%	50.3%	51.9%	47.1%	47.4%	2.6%	0.7%	0.0%	0.0%
	家庭では「早寝・早起き」に心がけている。	↓ 61.3%	71.9%	23.2%	28.9%	38.1%	43.0%	34.2%	26.7%	4.5%	1.3%
	子どもは朝ごはんを毎日きちんと食べている。	93.5%	94.1%	66.5%	71.9%	27.1%	22.2%	3.9%	4.4%	2.6%	1.3%
	子どもに家族の一員として、役割と責任を持たせるようにしている。	81.8%	80.7%	30.5%	36.3%	51.3%	44.4%	15.6%	18.5%	2.6%	0.7%
	子どもに規範意識(マナー・モラル等)について教えている。	95.5%	98.5%	47.7%	45.2%	47.7%	53.3%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%
	家庭で読書の習慣がついている。	31.6%	31.1%	17.4%	9.6%	14.2%	21.5%	39.4%	42.2%	29.0%	24.2%
	子どもは自らすすんで「おはよう」「ただいま」などの挨拶ができています。	84.5%	88.6%	48.4%	49.2%	36.1%	39.4%	14.2%	10.6%	1.3%	0.7%
	子どもは配布物を必ず見せ、学校のことをよく話してくれる。	↓ 72.1%	79.5%	26.0%	28.8%	46.1%	50.8%	23.4%	18.2%	4.5%	2.0%
	授業参観や学校行事などに、できるだけ参加している。	72.1%	78.8%	21.4%	22.0%	50.6%	56.8%	24.7%	17.4%	3.2%	3.4%
	PTA活動や学校ボランティア活動に、できるだけ参加している(したい)。	49.0%	53.0%	9.0%	7.6%	40.0%	45.5%	40.0%	40.2%	11.0%	6.0%
	夜間の外出はさせていない。	88.4%	94.7%	50.3%	71.2%	38.1%	23.5%	7.7%	3.8%	3.9%	1.3%
	ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている。	81.2%	85.6%	33.8%	31.8%	47.4%	53.8%	15.6%	14.4%	3.2%	0.0%
	子どもと将来の夢や生き方について、できるだけ対話している。	76.8%	80.3%	29.7%	28.0%	47.1%	52.3%	20.6%	18.9%	2.6%	0.7%

12月に実施した後期保護者アンケートの結果をお伝えします。

例年のことですが、時間の経過とともに生徒たちの様子も変化してきており、最初は初々しい気持ちで緊張感を持って取り組んでいたことが、学校生活に慣れるにしたがって疎かになってきたり、また、保護者の方も前回より高い水準で学校の取組を評価されたりすることから、従来、後期は前期と比べてやや数値が低くなる傾向があります。今回の結果も全体的にはその傾向が表れています。

その中で今回気になる点のひとつは、「子どもには困ったことや悩みを相談できる友人がいる」と考えていただいている数値が、5.5ポイント下がっていることです。「そう思う」と考えておられる方も3.7ポイント増えてはいるのですが、前期より友人関係がやや希薄になったと考える方が増えたようです。中学生の友人関係は男女の特徴が出てきます。男子は比較的部活動などの活動を中心とした友人関係がつけられやすいのですが、女子はそれ以外に情緒的なつながりを求める傾向が強く、一方で孤立を避けるために消極的にグループに所属しているような生徒もいます。いずれにしても「本当の友達とは何か」について大人も交えて考えること



が必要です。また、友達に相談することで気分が晴れる程度のことならいいのですが、本当に困ったり悩んだりした時、たとえ相談できる友人がいたとしても、同じレベルでしか考えることができず、より悩みが深まったり、また、間違った方向に進んでしまったりすることもないとは言えません。『深刻な相談をされたとき、本当の友達ならどうするのか』、ご家庭でも一度話題にしてみてもいいでしょうか。

次に、「家で予習や復習、宿題等の勉強はできている」の数値について、「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」がともに下がり、「そう思わない」だけが5ポイント増えています。これは、学校だより⑧（12/21発行）でもお知らせしましたように、全国学力・学習状況調査の質問紙に対する回答で、本校3年生の学校外での2時間以上の長時間の学習（おそらく学習塾等で行われている学習）は、全国平均より9ポイントも上回っているのに対して、1時間以内の短時間の学習（おそらく家庭で行われている学習）は5ポイント下回っていることと関係しているようです。自学自習の習慣や主体的に学習に向かう態度は将来にわたって必要です。通塾によって学校外の学習時間は一定確保されているとは思いますが、それを除いた純粋な家庭学習の時間をしっかり取るよう促していく必要があります。



また、常に話題にのぼる「家庭で読書の習慣がついている」の数値で特徴的なことは、「そう思わない」が約5ポイント増えたことです。言い換えると、読書習慣がほぼない生徒が増え続けているということです。この傾向にいかに歯止めをかけるか、学校としても学校図書館の活用などに取り組む必要があります。

その他、「夜間の外出はさせていない」が約6ポイント、「ケータイ・スマホ・メールなどの使用ルールを決めている」は約4.5ポイント下がっています。特にスマホについては、「使い過ぎて困っているので学校でもきつく指導してほしい」との自由記述もありました。状況や理由にもよりますが、生活習慣などに影響を及ぼす可能性があることとして家庭内ルール等に今一度目を向ける必要があるのではないのでしょうか。

なお、自由記述は12名の方にご記入いただきました。前述以外に「教員のあいさつや言葉遣いについて」「部活顧問の指導態度について」「成績のつけ方の疑問」「美しい環境維持と清掃指導について」「行事予定連絡の要望」「夏用制服の要望」「宿題の要望」「お子達の様子や期待」などのご意見・ご指摘・ご感想をいただきました。また、合わせて「学校・学級の取組と様子」について肯定的なご意見・ご感想もいただきました。これらについては、教職員で共有し、十分に参考にさせていただきながら、今後の教育活動の向上に生かしていきたいと考えております。



クラスマネジメントシート②

～居心地のよい学校・学級を目指して～

10月に実施した「クラスマネジメントシート」の集計結果をお知らせします。

前回6月との違いは、生徒が定期テストや1学期の評価・評定、体育祭や文化祭を通した学年・学級集団づくりを経験したうえでの結果であるということです。

	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月	10月	6月
30.10月(6月比較)	A+B 【矢印は前年同期と比べて5%以上変動のあるもの】		D 全然あてはまらない		C はあまりない		B 少しあてはまる		A よくあてはまる	
学習関連項目										
授業が分かりやすい	↑ 94.1%	94.8%	0.9%	1.2%	5.3%	4.3%	45.6%	47.7%	48.5%	47.1%
勉強が楽しい	73.7%	74.8%	7.4%	8.1%	19.2%	17.3%	38.7%	32.2%	36.1%	39.0%
勉強が分かる	83.7%	85.8%	0.4%	0.4%	13.0%	10.4%	45.0%	46.8%	38.8%	39.0%
授業が面白い	↑ 81.9%	84.7%	5.3%	5.2%	13.1%	10.4%	38.3%	40.2%	43.6%	44.5%

学習関連の項目では、すべての項目で前回よりもやや下回っていますが、前年同期と比較すると、すべての項目で上回り、特に「授業」の項目が5ポイント以上増加しています。このことから、教員が生徒の関心意欲を持たせる工夫をしたり、わかりやすい授業を目指して授業改善を行ったりした結果、ある程度成果は表われているのですが、勉強が楽しいという実感を持たせる点ではまだまだ課題があるということがわかります。この課題解決に向けて今後も引き続き取り組んでいきたいと思ひます。



いじめに関連する項目では、「嫌がらせや暴力」「暴言・悪口・無視」「いじめ」に類することにAと答えている生徒は右表の通りです。いじめについては、「いじめ防止基本方針」に基づき12月にも別のアンケート調査を実施しており、その集計結果も含めて、担任や学年教員が具体的な状況や事実関係を確認し、「いじめ」事象の解消・解決に向け、必要な個別の対応を行うとともに、いじめを許さない集団づくりを進めていきます。

30.10月

いじめ関連項目	D	C	B	A
友だちや他の子から、嫌がらせや暴力を受けている	308	22	7	2
友だちや他の子から、乱暴なことを言われる	306	23	8	2
友だちや他の子から、陰で悪口を言われる	296	32	10	0
友だちや他の子から、無視をされる	307	24	8	0
友だちや他の子から、いじめられている	322	13	4	0
クラスには、仲間はずれにされている人がいる	254	67	12	6
クラスには、いじめがある	288	44	5	2
クラスが嫌な雰囲気(ふんいき)になるときがある	205	100	26	8